

## 目 次

		ページ
<b>SKYLIGHT</b> 〈今月の焦点〉	銀河相互作用と活動現象	野口正史 330
<b>EUREKA</b> 〈研究紹介〉	特集：星間分子の世界④ 星形成領域の化学を探る	三上 人巳 336
	中性子星連星ができるまで	山岡 均, 茂山俊和 342
<b>天球儀</b> 〈読物〉	目で見る X 線天文学の歴史	小田 稔 348
<b>ASTRO NEWS</b> 〈天文ニュース〉	COBE の観測結果と宇宙論	杉山 直 350
<b>ASTRO EXPRESS</b> 〈論文速報〉	<sup>7</sup> Li による中性子捕獲の測定と元素合成／コア・コラプスについて／500 層の脈動星モデルでの衝撃波／合体銀河の力学構造／実験室における CH <sub>2</sub> D <sup>+</sup> と HCCD <sup>+</sup> の赤外線スペクトルとマイクロ波遷移の予言／地球に接近する小惑星に関する流星の予報／銀河の速度分布／セイファート銀河 NGC 3516 の電波及び輝線マップ／降着円板の磁気不安定性／太陽縁で観測された白色光フレア／GRAPE システム用の N 体コード	352
<b>書評</b>	パソコンによるシミュレーション物理	鈴木知治 355
<b>雑報</b>	日本学術会議だより No. 25 より抜粋	357
<b>月報だより</b>		358
<b>シリーズ</b>	〈天体列伝(8)〉 銀河系中心	坪井昌人 372
<b>星空市場</b>		374

### 表紙説明

相互作用銀河のシミュレーション (SKYLIGHT 参照)。銀河円盤を上から見たところで、相手の銀河は円盤の右手を下から上へ通過している。円盤の回転は相手銀河の運動と同じ方向 (反時計回り) である。オレンジ色の粒子は古い星を、紫色と青色はそれぞれガス雲とガス雲から生まれた新しい星を示している。①は最接近時、⑥は約 10 億年後の姿を示す。